

スピードダウン励行を

渡辺組が夏の交安街頭啓発

ドライバーにグッズ配布

【網走発】(株)渡辺組(湧別、渡辺博行社長)は十八日、遠軽町内を走る国道二四二号沿いの遠軽支店前で交通安全街頭啓発を実施した。道行くドライバーに交通安全グッズを配布しながら、悲惨な交通事故の根絶を訴えた。

同社では、夏と秋の全国交通安全運動に合わせ、平成十九年から街頭啓発に取り組んでい



る。ことしで八年目、十五回目を迎えた活動には、役員や作業員ら四十人余りが参加した。

活動に先立って渡辺勉副社長があいさつ。「当社で

は、明後日二十日には無事故・無災害達成一千日を迎える。事故を起こさない、遭わないの精神でさらなる記録の更新を」などと呼びかけた。また、応援に駆けつけた遠軽警察署の佐々光則署長が「この時期は行事やイベントが目白押し。飲んだら運転しないを徹底して」と呼びかけた。

活動に当たっては、遠軽署の警察官が通行車両を誘導した。渡辺副社長や佐々署長らが、自社で作成したクリアファイルやリーフレット、缶コーヒー、ペットボトルのお茶を詰め合わせた交通安全グッズ百セットを配布し写真し、「運動期間中です。安全運転をお願いします」などと声をかけ

ながら、ドライバーに交通事故の根絶を訴えた。

このほか、参加者全員が国道沿いに整列。スピードダウンの励行、シートベルト着用の徹底を訴える横断幕や、「命落とすな、スピード落とせ」「運転中の携帯電話、禁止です」など書かれたのぼり旗を手に、安全運転を啓発した。三種類用意したのぼり旗は活動終了後、各現場などに持ち帰って掲揚するという。